

佐高・国際人ファイル

飛び立つ一期生、海外の大学へ

4月から大学3年生となる一期生。海外の大学への留学が続々と決まっています。今回は、そうした「勇気あるチャレンジャー」たちを紹介します。

石川 智浩 ともひろ くん 明治大学政治経済学部 → カリフォルニア大学バークレー校
(2016. 6/ 6 ~ 8/ 12 サマーセッションに参加)

①どんな大学ですか。

→カリフォルニア大学バークレー校は、英タイムズ・ハイアー・エデュケーション (THE) が発表している最も権威ある「世界大学ランキング 2015-2016」で 13 位にランクされています。日本ではベスト 200 に東京大学(43 位)と京都大学(88 位)の 2 校しか入っていません。政治経済学関係だけでも、ノーベル賞受賞者が 10 名以上いる大学です。

②何を学ぶのですか。

→世界中から選りすぐりの留学生が集まる「サマーセッション」に参加し、国際寮で生活します。トピックで 750 点以上の語学力が必要とされています。「サマーセッション」では「カレッジライティング (論文作成)」と「環境経済学」を受講し単位を取得する予定です。

③後輩たちへのメッセージ

→高校では部活動 (ボート部) と勉強を頑張ってきました。そこで頑張ったことは、大学に入ってから様々な場面で生きており、海外に留学する原動力にもなっています。未来の自分のために、高校生活を頑張ってください！



磯貝 梨奈 りな さん 早稲田大学法学部 → ボン大学 (ドイツのボンにある総合大学)
(2016.9 ~ 2017.7)

①なぜ留学したいと思ったのですか。

→私は読書が好きで、ドイツ文学を好んで読んでいたこともあり、自然とドイツに対する憧を抱いていました。また、高校では、カナダでのホームステイ経験などを通して、外国語学習や異文化交流の大切さ、楽しさを知り、大学では長期間の留学をしてみたいと考えていました。現在、私は大学の国際学生寮に住んでおり、様々な国から集まった留学生と共に暮らしながら、英語とドイツ語の勉強を頑張っています。

②大学を選んだ理由は？

→私が留学するボン大学は、現在のドイツ基本法 (憲法) の原型となるドイツ連邦共和国基本法が制定された歴史上の舞台でもあります。その舞台となった場所で、ドイツ語や法律の勉強をしたいと思い、ボン大学を留学先を選びました。

③後輩たちへのメッセージ

→今、私から何か言えることがあるとすれば、今できることを一生懸命頑張って目標を見つけること。そして、自分の好きなことや将来やりたいことを貫くことです。世界は自分が思う以上に大きく、広大に広がっています。道が分からなくなった時は自分のやりたいことに正直に向き合って進んでいけば必ず後悔はしないと思います。残りの中学・高校時代を有意義に過ごしてください。OG として応援しています。



板場 ^{まさし} 匡史 くん

東京外国語大学言語文化学部フランス語科

→ パリ第三大学（新ソルボン又大学）（2016.9~2017.8）

①なぜ留学したいと思ったのですか。また、大学を選んだ理由は？

→私が留学を決めた理由は、単純に留学そのものが経験として魅力的だったからです。海外で勉強や生活をしたりすることはそうできるものではありません。月並みな表現ですが、人生は一度だと思い、行けるなら行くべきだと決意しました。パリ第三大学を選んだ理由は、一流の文学や芸術が学べるからです。（注：板場くんは、高校で英検1級取得、TOEICで900点以上でした。）

②留学で期待していることは？

→私はカミュやサルトルに興味があるので、彼らについて掘り下げることができたら、と思っています。さらには、フランスは主体性が重視される国でもあるので、そういった精神の社会的背景を実生活と大学での授業を通して学んでいけたらいいなと思っています。あとは単純に観光が楽しみです。

③後輩たちへのメッセージ

→留学は世間一般の人は行きません。ですから、留学という経験は社会に出た時大きな武器となります。大学によっては優秀であれば留学に際して金銭的な援助を受けられます。また、今では「トビタテ！留学JAPAN」という官民協働の奨学金制度（こちらはかなりいい額がもらえます）もあります。努力と野心さえあれば、留学に行くことができます。ですから、皆さんには「俺/私はこんな地方都市に収まる人間じゃない。」と強く上昇志向を持って、勉学にさらに励んでいただきたいと思っています。



三村 ^{さとし} 怜 くん

秋田県立大学生物資源科学部 → グラム大学（2015.9.6~9.20）

①なぜ留学したいと思ったのですか。

→英語がコミュニケーションツールとして重要だと思ったからです。タイに一人旅した時のことです。様々な国から訪れますが、公用語がタイ語であるタイでも実際に使った言語は英語でした。世界の共通言語は英語なのだと思います。外国の方と会話する機会が多々ありましたが、言いたいことが言えない、うまく聞き取れない、悔しい思いをしました。英語ができれば、旅もさらに楽しくなったのと思いました。そのような体験から、短期ではありますが、留学しようと思いました。

②大学ではどんなことを学んでいますか。

→農学系の学部で、農業・土壌・食品などについて学んでいます。その中でも、特に醸造に興味を持っています。日本酒、ビール、味噌などは微生物の力を借りて造られています。微生物には様々な可能性が秘められています。微生物について極めてみたいと思っています。

③後輩たちへのメッセージ

→私は興味のある生物を勉強してから、自分のやりたいことが見つかりました。将来何をやりたいか、まだよくわからない人は、興味のある分野をとことん勉強してみたいかがでしょう。佐高生・附中生のみなさん、それぞれの目標に向かって頑張ってください。努力の上に花は咲きます。



☆他にも、現在留学中だったり、これから留学をする先輩は大勢います。それは、**またの機会に！**

お知らせ

平成27年度の「**海外グローバル研修**」（高1：42名、3/9~18）がいよいよ始まります。佐高では、HPで毎日の活動の様子を紹介します。日本とカナダとは17時間の時差があります。そのため、カナダでの毎日の活動の様子を**次の日の夕方頃**にUPします。今回の研修は、現地の高校や大学での課題研究の発表など、見所満載です。ぜひ、HPにアクセスしてみてください。

